

2012
Vol.3

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital

新年のご挨拶

麻酔科(ペインクリニック)のご案内

診療科特集

- 内科(免疫・血液・代謝内科)
「関節リウマチの治療はどんどん進歩しています!」
- 放射線科
「放射線科の特色」「からだに優しい画像診断」
- 内科(循環・呼吸・老年病内科)
「鈹泥浴利用のご案内」

中央診療施設の紹介 検査室



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



新年のご挨拶

九州大学病院別府病院長

牧野 直樹

あけましておめでとうございます。

当院は、昭和6年(1931年)に九州大学温泉治療学研究所の診療部門として発足し、昨年で80周年を迎えました。昨年4月には組織改編に伴い、「九州大学病院別府病院」へと病院名を変更し、診療科としては内科、外科、放射線科に加えて整形外科を開設いたしました。おかげさまで県内の先生方から多くの患者さんのご紹介をいただきまして、大変ありがとうございます。

この度、手術をこれまで以上に行える体制を整えようと、本年1月より麻酔科を標榜科として加えることになりました。

昨年は東日本大震災が発生しました。本院は地域の中核病院として、また大学病院として、災害だけでなくさまざまな社会の要請に応えて、また皆さんと支えあいながら進んで行かねばならないと実感しています。

私たち職員は九州大学病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を提供する」の基本に立ち、地道に、ひとつずつ、目の前のできることから取り組んで参りたいと存じます。そして、患者さんの健康の増進と生活の質の向上にむけて、より質の高い医療を提供するため職員一同さらなる努力をしまいたします。

どうぞ本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げますと同時に、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

麻酔科(ペインクリニック)のご案内

本年1月より、当院に診療科として麻酔科(ペインクリニック)が標榜されました。

現在、吉武慎一郎講師(麻酔科専門医)が行っております。

外来では「疼痛外来」として、毎週金曜日の午前中に外来診療を行っています。

主な治療法としては、①薬物療法、②近赤外線照射などの保存療法、③局所麻酔薬を使用した神経ブロック(星状神経節ブロック、硬膜外ブロック、トリガーポイント注射等)を行っています。腰や肩の痛み、頭痛、帯状疱疹などの慢性の痛みでお悩みの方はご相談ください。

また手術治療での最適な麻酔方法、全身管理について、患者さんと相談しながら安全で手術後の痛みの少ない方法を実施しています。

(文責 吉武 慎一郎)



関節リウマチの治療は どんどん進歩しています！

関節リウマチは関節の腫脹(はれ)と痛みが長い間続き、やがて関節の軟骨や骨が破壊され、関節の機能が失われる病気です。

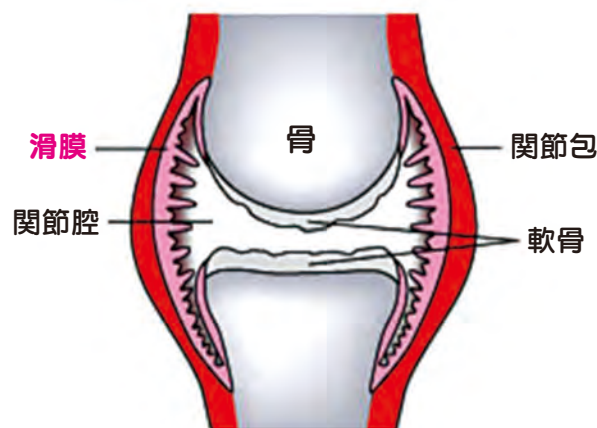
骨と骨がつながる部分である関節は、関節包に包まれた袋状の構造をしており、関節包の内側は滑膜が覆っています。上下の骨の表面には軟骨があり、関節が滑らかに動くように潤滑剤の役目を果たしています。関節リウマチは、免疫の異常が原因でこの滑膜に対する異常な免疫反応が起こり、炎症(腫れ、痛み、熱感、発赤)を引き起こします。炎症反応は滑膜の細胞を増殖させ、軟骨を破壊し、さらに進行すると骨まで破壊して、関節の変形(右の図)を引き起こすのです。

関節リウマチは何よりもまず、できるだけ早い時期に診断をつけて治療を始めることが大切で、そのために最新の知見に基づいた診断基準が用いられています。

関節リウマチの診断が確実にになったら、できるだけ強力な治療を開始することが勧められます。従来までの消炎鎮痛薬、ステロイド薬、抗リウマチ薬を中心とした治療も有用な治療薬ですが、近年次々に開発されている**生物学的製剤**は、治療効果が一段と優れており、以前は不治の病とされていたこの病気にたいへん明るい希望をもたらしました。場合によっては治癒にまで至るのではないかという医学者もいます。治療により関節の腫れや痛みをとるだけでなく、関節の破壊や変形を予防し、さらに身体機能の改善をめざすことが今の治療の目標となっています。

生物学的製剤は現在、レミケード®、エンブレル®、ヒュミラ®、アクテムラ®、オレンシア®、シンボニー®の6種類があります。いずれも炎症を引き起こす物質や免疫細胞の機能を抑えることで効果を発揮します。点滴や皮下注射で投与しますので、患者さんの病状や生活スタイルを考えて製剤を選択します。当科では2003年から生物学的製剤を使用しており、2011年現在までで約80人の患者さんに使用し、多くの方でよい効果を得ています。ただし、治療は専門医による正確な診断が必要ですので、是非ご相談ください。

(文責 生山 祥一郎)



放射線科の特色

当放射線科では、種々の疾患の画像診断、画像介入下低侵襲性治療(IVR)、がんに対する内視鏡検査治療、高精度放射線治療などを行っています。熟練した専門の放射線科医師、放射線技師、看護師、事務系職員が一丸となり、患者さんに満足いただける、からだに優しい診断、治療を目指しています。

画像診断

64列マルチディテクターCTを用いた心臓CT、CTを用いた仮想消化管内視鏡検査、1.5T MRI検査(全脊椎検査可能)

I V R

悪性腫瘍や血管狭窄病変に対する血管内治療
悪性腫瘍に対する経皮的治療や緩和的ステント治療

消化管治療

消化管病変に対する内視鏡的治療(EMR、ESD)

放射線治療

各種悪性腫瘍に対する放射線治療・特に前立腺癌に対する強度変調放射線治療(IMRT)に準じた高精度放射線治療と肺がんに対する定位放射線治療には力を入れております。

診察体制

日本医学放射線学会放射線科専門医3名、日本放射線腫瘍学会認定医1名、日本IVR学会専門医1名および第一種放射線取扱主任者免状を2名が有しており、専門的な放射線診療にあたっています。

診療のご案内

CT/MRI画像検査、内視鏡検査の依頼について

当科外来では他の医療機関からのご依頼でCT、MRI、消化管検査など各種画像検査を行っています。結果はCDデータ、報告書とともに御依頼いただきました先生方に迅速にお返事いたしております。

各種放射線検査の依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けておりますので**放射線科受付(TEL 0977-27-1722)までご連絡ください。**

放射線治療の依頼について

※放射線治療の新患受診は、月・水・木曜日 午前9:00～12:00です。

※乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、そのほかの悪性腫瘍については御相談ください。

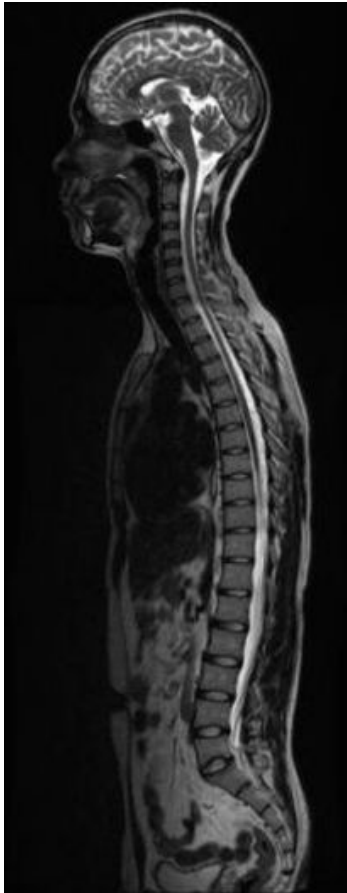
※放射線治療の診療は、事前に連絡を頂ければ、待ち時間が少なくなる様、配慮させていただきます。

地域医療連携室 フリーダイヤル

0120-272-518 (専用)までご連絡ください。

からだに優しい画像診断

全脊椎MRI



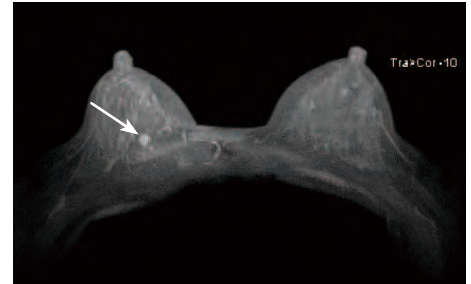
当科1.5T MRIによる全脊椎MRI画像

心臓CT



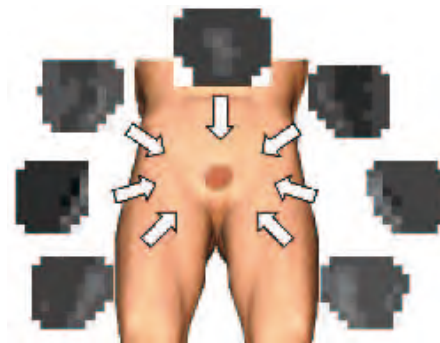
64列マルチディテクターCTによる
心臓(冠動脈)CT画像

小さな乳がんのMRI画像



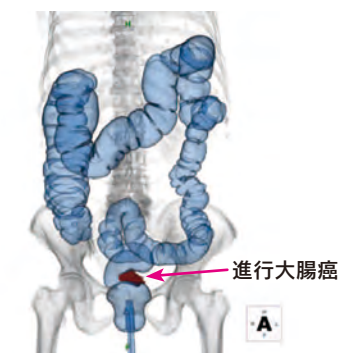
MRI画像により、乳がんの形状と広がりが診断可能です。

前立腺がんに対する高精度放射線治療

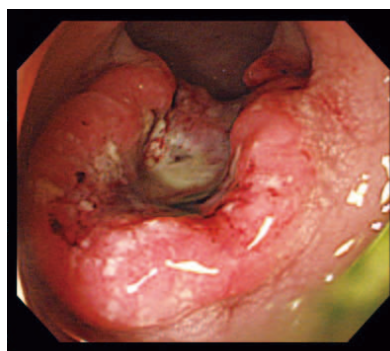


高精度放射線治療により、前立腺のみに放射線を集中させて直腸出血等の副作用の低減が可能です。2週間程度で治療開始可能です。

CTによる仮想大腸内視鏡



CTコロノグラフィー



進行大腸癌の内視鏡画像



同病変の仮想大腸内視鏡画像

(文責 平川 雅和)

鈷泥浴利用のご案内

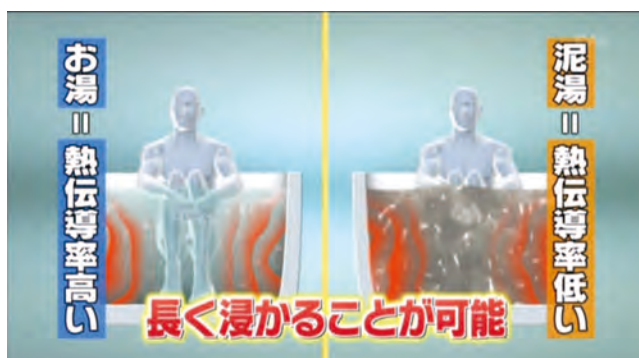
昨年2月にテレビで当院の鈷泥浴が紹介されて以来、「鈷泥浴」を使った理学療法の利用者が増えてきております。これには遠方からの利用者も増えつつあるところです。

鈷泥浴は、温熱療法であり深部体温の上昇をもたらし、基礎代謝亢進と微小循環の改善ならびに疼痛緩和効果に優れています。確たる原因が不明の場合でも、発熱や感染症や強い炎症反応などを伴わない限り、種々の関節痛や全身各所の痛み鎮痛効果を発揮します。

当科では、このような痛み悩む患者さんで他の治療で満足のいく効果が得られなかった方に、本治療をご利用いただいております。発熱、感染症、強い炎症反応がないことを確認の上、外来で鎮痛効果が得られるまで通院していただく他、遠方の方には1ヶ月程度の入院の上、ご利用いただくことで、他では得られなかった鎮痛効果を期待できる治療を提供致しております。

慢性的な痛みでお悩みの方は、是非一度当科にご相談ください。尚、当院の温泉施設は日本温泉気候物理医学会の認定施設になっており、温泉療法医がご相談をお受けします。

(文責 前田 豊樹)



普通のお湯に比べて泥湯は熱伝導率(皮膚に対する刺激)が低く、長い時間浸ることが可能



泥湯に入ると血管が拡張し、血流量が増加。その結果、痛みのある場所から発痛物質を流し、減らしてくれる。

(出典:たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学 O.A. 2011年2月8日)

診療のご案内

連絡先：地域医療連携室 TEL 0977-27-2055
☎フリーダイヤル 0120-272-518

検査室について

昭和52年10月に設置された当検査室では、牧野 直樹検査室長(内科科長兼任)、大石 善丈助教(病理医)、東保 太郎医員(病理医)、臨床検査技師7名の体制で日々の臨床検査を行っております。当検査室では、“精密で正確、迅速な検査を通して患者さんケアの向上に貢献する”という理念の基に、血液検体検査はすべて迅速結果報告を実施しており、外来における診療前検査が可能です。また勤務時間外検査については、“オンコール24時間体制”で行っております。



検査室メンバー

検査室の概要は、総合検査室(化学・血液・凝固・免疫血清・輸血検査など)、尿検査室(尿・便潜血検査など)、細菌検査室(一般細菌の培養・同定・薬剤感受性検査など)、生理機能検査(心電図・肺機能・超音波検査など)、病理検査室(病理組織・術中迅速病理組織・細胞診検査・病理解剖)の5つの検査室で構成されています。また、毎週の感染症情報の発信、NSTにおける月二回のアルブミン値の集計報告など、院内委員会活動にも積極的に取り組んでいます。さらに日常業務に加え、新しい検査法や診断法の導入にも積極的に取り組んでおり、研究部門の補助的業務も行っております。

その他に、毎年臨床検査技師養成学校の実習生を受け入れており、人材育成や検査技術の普及発展に努力しております。

(文責 森 大輔)



汎用自動分析装置
[BM-1650(日本電子株式会社)]



血液像鏡検中の様子

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は供養盆踊り大会、クリスマスコンサートなど皆様楽しんで頂けたでしょうか？

日に日に風が冷たくなってきていますが、何をするにも身体が大事になりますので、風邪などひきませんよう十分に気をつけてください。

スタッフ一同、より一層病院の向上に努めてまいりますので、今年度も宜しくお願い致します。

(地域医療連携室 陣之内)



九州大学病院別府病院 外来診療案内

(平成24年1月1日現在)

科名		診療区分	月	火	水	木	金
内科	免疫・血液 代謝内科	リウマチ膠原病	生山 祥一郎(隔週) 平瀬 伸 尚 有 田 好 之	生山 祥一 郎 有 田 好 之	生山 祥一 郎 平瀬 伸 尚 合 田 英 明	病棟回診日	生山 祥一 郎 平瀬 伸 尚
		内分泌・糖尿病	生山 祥一郎(隔週) 有 田 好 之	生山 祥一 郎 有 田 好 之	生山 祥一 郎		生山 祥一 郎
		血 液 病	平瀬 伸 尚	—————	平瀬 伸 尚		平瀬 伸 尚
		骨粗しょう症	生山 祥一郎(隔週)	生山 祥一 郎	生山 祥一 郎		生山 祥一 郎
		消化器・痔疾患	有 田 好 之	有 田 好 之	—————		有 田 好 之
	循環・呼吸 老年病 内 科	循環器・呼吸器	樋 口 義 洋	牧 野 直 樹	樋 口 義 洋	小柳雅孔(第1,3,5)	牧 野 直 樹 小 柳 雅 孔
		老 年 病	—————	前 田 豊 樹	前 田 豊 樹	前田豊樹(第2,4)	—————
		睡眠時無呼吸外来	小 柳 雅 孔	樋 口 義 洋	樋 口 義 洋	小柳雅孔(第1,3,5) 前田豊樹(第2,4)	小 柳 雅 孔
		禁煙外来(全予約制)	担 当 医	担 当 医	担 当 医	担 当 医	担 当 医
	外 科	一般・消化管	三 森 功 士 田 中 文 明 柴 田 浩 平 主 藤 朝 也	手 術 日	田 中 文 明 三 森 功 士 柴 田 浩 平 主 藤 朝 也 (岩谷 岳)	手 術 日	柴 田 浩 平 三 森 功 士 田 中 文 明 主 藤 朝 也
肝・胆・膵			柴 田 浩 平		柴 田 浩 平		柴 田 浩 平
乳 腺			三 森 功 士		田 中 文 明		三 森 功 士 田 中 文 明
肛 門			主 藤 朝 也		主 藤 朝 也		主 藤 朝 也
セカンドオピニオン		—————	—————	要予約(第1,3)午後3:00～	—————	—————	
麻 酔 科		疼 痛 外 来	—————	—————	—————	—————	吉武 慎一郎
整 形 外 科		脊 椎 外 科	手 術 日	土 井 俊 郎 東 野 修 樽 角 清 志	手 術 日	土 井 俊 郎 東 野 修 樽 角 清 志	手 術 日
放 射 線 科	放 射 線 治 療	渥 美 和 重	—————	渥 美 和 重	渥 美 和 重	—————	—————
	放射線画像診断	平 川 雅 和	坂 本 勝 美	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和

診療時間

外来受付時間：8:30～12:00 休診日：土日、祝日、年末年始(12/29～1/3) (整形のみ 初診8:30～10:30)



地域医療連携室のご案内

月～金 8:30～17:00
☎0120-272-518(専用)
TEL:0977-27-2055(直通)
FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します

基本方針

- ◆ 地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ◆ プライマリ・ケア診療の充実
- ◆ 全人的医療が可能な医療人の養成
- ◆ 専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ◆ 国際化の推進
- ◆ 生活の質が向上できる医療の提供

九大別府病院だより Vol.3



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地
代表 TEL 0977-27-1600
URL <http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/>